

インターネットショッピングを利用する前に

ネットショッピングは自宅にいながら買い物ができるという便利さの反面「商品が届かない」「違う商品が届いた」等のトラブルや、個人情報の漏洩など、リスクがあることを承知したうえで申し込むことが必要です。

～まず、信頼できるサイトを選ぶ～（販売業者の明示事項）

①価格、商品の送料 ②代金の支払い時期と方法 ③商品の提供時期 ④返品特約の有無（返品できる場合の条件、期間、返送料等の負担など） ⑤販売価格以外に負担すべき金銭があるときはその内容 ⑥業者の名称や住所・電話番号 ⑦法人の場合、責任者の氏名 ⑧申込みの有効期限があるときの期限など

信頼の基準となる主なマーク



プライバシーマーク

（財）日本情報処理開発協会が運営。個人情報の取り扱いを適切に行っていることを示すマーク。一定の基準について認定機関が審査の上付与。



JADMAマーク

（社）日本通信販売協会会員のマーク。一定の基準をパスして会員になった企業に付与。



トレードセーフトラストマーク

（株）トレードセーフが運営。中小のネットショップを対象に、業者の実在の確認、法令遵守など、一定の基準を審査の上付与。マークをクリックすると認証情報が確認できる。



オンラインマーク

（社）日本通信販売協会が運営。ネット販売事業者を対象に、その実在と取引条件や広告表現が適正かなどを審査の上付与。

個人情報流出に注意!!

クレジットカード番号など個人情報を入力するときは情報のセキュリティ対策がしっかりしているサイトを選ぶことが重要になります。送信する際に暗号化（SSL方式）に対応していることを表すマークが「http」ではなく「https」となっているか？「鍵マーク」が表示されているか？暗号化されていない画面で個人情報を入力すると、漏洩の危険性があります。

《条件を細かくチェック》

- 価格、送料の負担、梱包など付帯費用、支払方法、引渡時期、返品・解約の可否・条件などを確認する。
- **返品特約の記載がない場合は、商品受領日から8日以内に、返品に要する費用は消費者負担で返品が可能。**
- （注）・ネットショッピング（通信販売）は、**クーリング・オフ適用なし。**
返品は不可と書かれている場合は、基本的にイメージ違いなどの理由での返品はできません。ただし欠品などの場合は、交換を求めることが可能です。
- 購入内容や、条件をプリントアウトしておく。

《支払い方法に注意》

- 郵便・銀行振込みによる前払いは、商品が届かないなどのリスクがあります。
- 代金引換は、通常その場で開封して中身を確認することができません。
- クレジット決済の場合は、暗号化（SSL）を確認
- 商品が届いたらすぐに確認する（返品期間が限られている場合が多い）
- 一般価格に比べて異常に安い価格のものは、特に慎重に検討しましょう。

